

▼CNCP からのメッセージ

インフラパートナーシップ協定と 高専インフラテクコン交流会参加

シビル NPO 連携プラットフォーム 常務理事/事務局長/土木学会連携部門長
土木学会/シビル NPO 推進小委員会 委員長
メトロ設計(株) 取締役

田中 努



CNCP の取り組みを2つお知らせします。1つは、土木学会が、国土保全やインフラマネジメントに携わる同士が連携しようと提案し、その「インフラパートナーシップ」の協定を締結しました。もう1つは、CNCP の「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会」が他団体と共催で進めてきた「第1回インフラテクコン」の最終ステップの交流会で、CNCP もブース展示に参加しました。

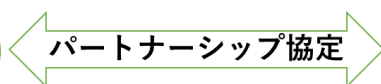
■インフラパートナーシップ協定の締結

土木学会は、土木広報センターを事務局に、会長・副会長・専務理事・学会支部事務局で「市民団体との協働活動促進のための方策」を検討する会議を2020年2月に始めました。学会のシビル NPO 推進小委員会の委員長（私）とインフラメンテナンス国民会議「市民参画フォーラム（公認）」（CNCP がリーダーと事務局）の代表も第2回（2/19）から参加しました。

土木学会は、「産官学」の強固な連携の元に活動してきましたが、「市民」の中にインフラマネジメントに関わる活動を精力的に進めている団体が数多くあるため、「国土やインフラ保全、地域づくり、人材育成などを目指し活動している市民グループ等を『パートナー』と位置付け、土木学会として連携・協力し、インフラ関連の活動の活性化を図ることを通じて、地域のインフラの質的向上を図る」ことを目的に、「インフラパートナー制度」を作り、協定を結ぶことになりました。協定内容は下図のようで、詳しくは学会の HP（<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/281>）で、見てみてください。

第1陣は右表の16団体で、各団体の代表と土木学会の会長と支部長の3者での合意書となります。土木学会から3/30にマスコミに発表されました。

| 所管支部 | 団体名 |
|------|-------------------------------|
| 北海道 | 一社) シーニックパイウェイ支援センター |
| | NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム |
| 東北 | NPO法人 青森ITSクラブ |
| | みんなで守る。橋のメンテナンスネット |
| | 庄内・社会基盤技術フォーラム |
| 関東 | NPO法人 シビルNPO連携プラットフォーム (CNCP) |
| | NPO法人 国境なき技師団 |
| 中部 | NPO法人 グランドワーク三島 |
| | 北陸インフラ総合連絡会議 |
| | NPO法人 神岡・町づくりネットワーク |
| 関西 | シビル・ベテランズ&ボランティアズ (CVV) |
| | NPO法人 あすの夢土木 |
| 中国 | しゅうニャン橋守隊 |
| 四国 | かがわ里海大学協議会 |
| 西部 | 噂の土木応援チーム デミーとマツ |
| | 道守養成ユニットの会 |



※良質な国土・インフラの維持・発展を目的・理念に掲げるような市民グループ等。

【土木学会が連携・協力できる内容例】

- インフラパートナー開催するイベントへの参加及び後援・広報
- インフラパートナーの活動を学会広報メディアにより対外的に発信
- 本部委員会、支部及び他団体との交流・情報交換の場の提供など

【インフラパートナーが連携できる内容例】

- 学会のイベントへの参加・PR
- 地域インフラ改善のための提案
- 本部委員会・支部との交流など



インフラパートナー 合意書

特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム「以下、「CNCP」という」と公益
社団法人土木学会（以下、「土木学会」という）は、お互いを「インフラパートナー」と位
置付け、国土保全・インフラマネジメントに携わる同士が連携することにより、地域インフ
ラの質的向上を図るとともに、その関連活動を楽しみ推進することを目的に、下記の通り合
意した。

記

- 【連携内容】**
- ・双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
 - ・双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
 - ・その他、本合意の目的に沿うこと
- 【確認事項】**
- ・双方は相互の独立した活動を尊重する
 - ・相互に経費負担の義務を負うものではない
 - ・各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
 - ・第3者と連携・協力することを相互に妨げない
 - ・連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
 - ・合意期間は1年、その後自動更新とし解約予定日の1か月前に通知する
- 【その他】**
- ・疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
 - ・具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

2021年2月24日

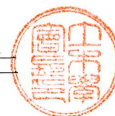
特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム

代表理事 山本 卓朗



公益社団法人土木学会

会長 家田 仁



公益社団法人土木学会関東支部

支部長 榎山 和男



■高専インフラテクコン交流会参加

「インフラテクコン」は、CNCP 通信 Vol.80 の 12 月号から今回まで 5 回の連載で、実行委員の方々から、目指すところや思いが語られていますので、ご存じと思います。

その今年度最後のイベント「高専インフラテクコン交流会」が、先月 3/15 に、旧千代田区立練成中学校を改修して誕生したアートセンターの「3331 Arts Chiyoda」で開かれました。1F のコミュニティスペースで入賞した 11 チームからのプレゼン、2F の体育館で協賛企業・団体のブース展示（写真）と表彰式が行われました。コロナの影響を考慮しオンライン開催で準備され、北海道から沖縄まで 221 名の参加がありました。

表彰されたインフラマネジメントに関する各提案には、高専生ながら、素晴らしいものがあり、参加した 30 チーム共、地域に根ざした課題に対する提案でした。地域の課題に地元の方が考え、地元で解決していくスキームはきっかけがあれば醸成していくと思います。

これらの実現に向けての支援こそ、CNCP のテーマの 1 つです。次の段階では、出された提案の社会実装を目指し、まず 3 地域で地域企業との連携が始まるそうです。

協賛企業・団体のブースでは、5~10 分ずつ、組織・活動の PR や表彰チームの提案への感想などのインタビューがあり、オンラインで共有され、オンデマンド化されます。CNCP のブースでは、次のような紹介をしました。

●インフラマネジメント活動の応援

高専インフラテクコンの応援／うなぎ持続可能プロジェクトの応援／南房総 CCRC 事業研究会の応援（いずれもリーフットを写真のように置きましたが、来場者は少なく、残念。）

●社会課題の解決・改善活動の支援

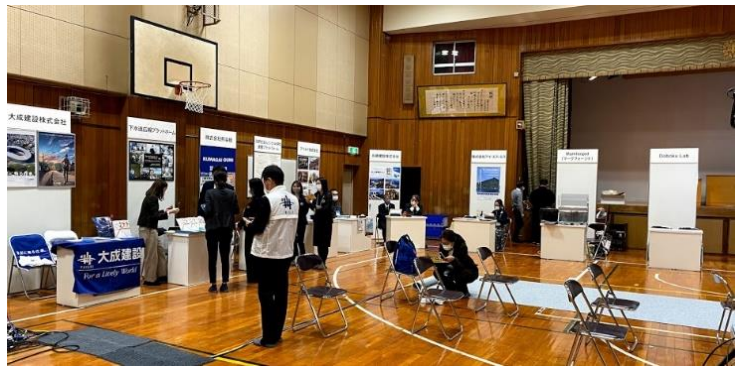
インフォーマルな場、法人格、人的ネットワーク、コミュニケーションツール等の利用、経営資源や NPO 運営ノウハウの支援など。

●CNCP 通信の発行

2014 年から毎月発行／CNCP 内外の社会問題の解決や改善活動の情報を発信（写真のように直近のプリントを置きました。）

●CNCP の生い立ちと仲間

土木学会の 100 周年記念事業で生まれた NPO／賛助会員・法人会員のリスト等。（法人会員紹介のプリントを置きました。）



※インフラテクコン：<https://www.infratechcon.com/>